

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2019.11 November vol.49

九月定例議会代表質問

島根創生にかける思い

新知事としての政治姿勢を問う

9月5日から10月4日まで、県議会9月定例議会が開会されました。新たな島根県の総合計画となる「島根創生計画」の策定が進められる中、今後の島根のかじ取りを担う丸山達也知事の政治姿勢などについて、会派民主県民クラブを代表して質問に立ちました。

知事の政治姿勢

人口減少が進む日本において、出生率が上がっているのは人口が少ない地域、子どもを産み育てやすい環境がある地方にこそ解決の道があると考えます。地方の裁量が発揮できる財源の移譲や、東京一極集中を是正していく国自身の積極的で大胆な取り組みを求めて、国を説得する働きかけも必要だが、いかがお考えか。

知事 島根は、県民所得が全国水準と比べて高くない中で、出生率が全国トップクラスで高く、育児中の女性の働かされている率は日本一。今以上に若い方々に出生をふやしていくため、環境を整えていくためには、若い世代に対する支援の充実が欠かせず、そのためには安定した財源が必要。島根のように頑張っている地域を支えることが、日本

全体の人口減少問題の解決への道であり、国全体として必要な施策であるということをお話していきたい。

地方創生事業の財源確保 新たな事業を創出していくためには、大胆な事務事業の見直しが必要だが、どういった視点で取り組むのか。

知事 新たな財政需要に対応する財源を捻出するため、全ての事業を対象に、①事業の目的や意義、②投入した予算に見合う成果、③効率的、効果的な手法、④国、県、市町村、民間などの負担割合、⑤県民生活の実態に即した事業内容の5つの視点で取り組む。全庁的な削減の目安を定めて各部署で見直しに取り組み、来年度当初予算の削減の目安を一般経費でマイナス10%、経常経費でマイナス3%とする。

義務的経費や個別調整経費などについて、見直し作業を効率的、効果的に進めるために4つの類型に該当する事業、①事業の実績や市町村等との負担割合を再点検した上で廃止や予算規模の縮減の検討が必要な事業、②他の財源の活用による負担の見直しの検討が必要な事業、③新たな事業に重点化するに当たって、

整理が必要な事業、④事業費が10億円以上の主な単独事業について、重点的に検討する。見直しによる県民生活への影響を最小限に抑える工夫をしながら進めていく。

参議院選挙の合区解消 一票の格差は正から生じた選挙区の合区についての考えを問う。

知事 2つの大きな問題がある。1点目は、合区した2つの県の間で利害が対立するような問題が生じた場合、両県民の意思を確認して、国政に反映することが、合区から選出された議員には難しくなり、合区対象県の有権者の皆さんの意見が国政に反映するということが性質上難しくなる。

2点目は、合区された選挙区では、実際の選挙活動で候補者に直接触れる、候補者の主張を直接聞かれる、人柄を確認されるといった、有権者にとって、候補者を選ぶための環境が著しく低下する。

文教厚生委員会 県内調査

生涯を通じた健康づくり・生きがいづくり

今期の文教厚生委員会の調査テーマは「高齢者が健康でいきがいをもって活躍できる島根に向けて、生涯を通じた健康づくり・生きがいづくり」です。このテーマに沿った今後の島根県の施策検討を目的に県内(益田市、浜田市)の取り組み実態を8月28～29日に調査しました。

益田市の高津小学校を中心に活動する高津地区老人クラブ連合会の皆さんの活動について、老人クラブや小学校の関係者の皆さんの話を伺いました。

高津地区老人クラブ連合会の吉山典佑(よしやまのりすけ)会長は、小学校の課外活動に積極的に関わって、こうと、空き教室にボランティアハウスを立ち上げ、絵本などの読み語り、登下校の見守り、入学式や卒業式のフラワールード作り、サツマイモの苗植え、クラブ活動の講師派遣、清掃活動などを行い、世代間交流を行っています。活動に参加することで会員は生きがいづくりになっていると話されました。



益田市役所にて文教厚生委員会の委員で調査



吉山会長と高津小学校の子どもたち

高津小学校の大橋大(おほはしまさる)校長からは、子どもたちに声をかけてもらうことや活動に関わってもらうことが、子どもたちの成長に良い影響を与えている。できるだけ学校を開放し、クラブの会員が活動しやすい環境を作っていると話されました。

浜田市の石見公民館では「健康でいきいきと暮らせるまち」を目指して公民館事業に取り組みで、その中の事業として「地域デビュー講座」と「本を読んで元気になる講座」を紹介されました。「地域デビュー応援講座」は、リタイアしたシニア世代の皆さんを対象に地域で様々な活動を紹介し、地域で



活躍するために必要な心身の健康維持を目的に取り組んでいます。中央図書館やボランティア団体など地域の活動団体が講師となって講座が開かれ、そこからボランティア活動に参加される人たちが出てきました。

また、「本を読んで元気になる講座」では、声に出して読んでみようという募集に応じて参加した人たちが、講座終了後、読み聞かせ体験をするなど、次の活動へと発展してきています。

公民館活動を通じた体験が地域活動に発展し、地域に貢献する人づくりになっています。

このほかにも、益田市白上いきいきサロン松光会の活動や、益田市、浜田市の取り組みについても調査しました。



石見公民館で公民館事業について調査

